

小林多喜二 18 歳時の短編小説「スキー」を発見

4月中旬の新聞で、プロレタリア作家・小林多喜二（1903～33 年）が小樽高等商業学校（現小樽商大）在学中の 18 歳の時に「国民新聞」（東京新聞の全身の一つ）に投稿し、大正 10 年 10 月 30 日付で掲載された全集未収録の短編小説「スキー」が、この度、市立小樽文学館で発見されたとの報道があった。

原稿の内容は、日露戦争で負傷した体育教師が主人公で、体が不自由な教師がスキーの練習をする様子を 400 字詰め原稿用紙 6 枚半書き込まれているそうである。

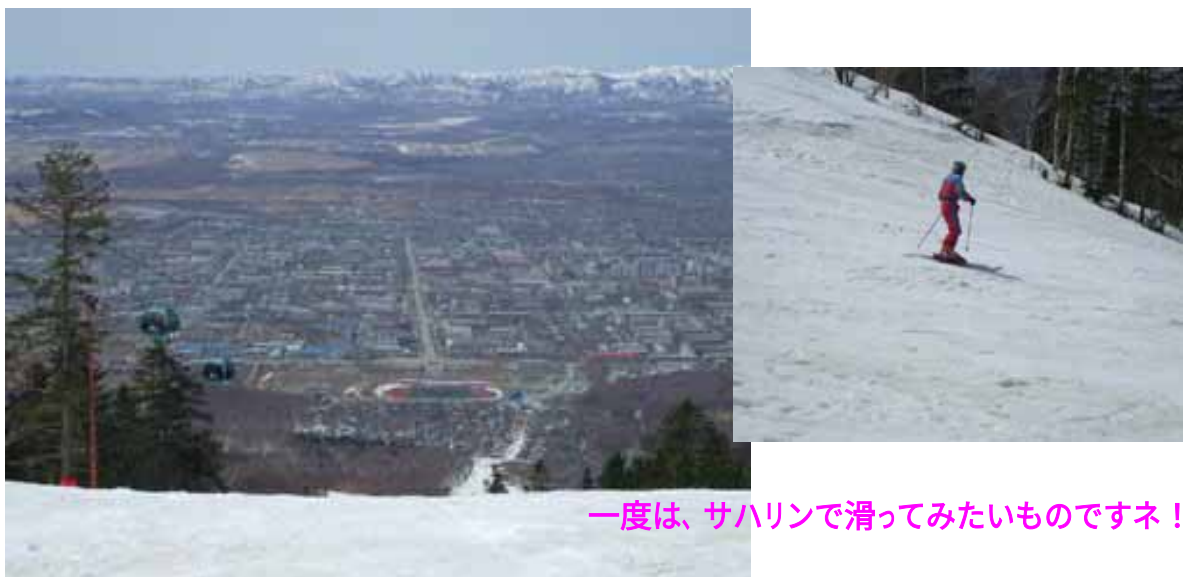
まさに、多喜二の最初期の幻の短編小説であり、この「スキー」は市立小樽文学館報の最新号に掲載されたとのことである。



今年は、お隣「サハリン州」は雪が多かった！！

北海道のお隣ロシア連邦サハリン州も今年は雪が多かったようである。州内の各箇所にはまだ積雪が残っており、州都ユジノサハリンスク市内のスキー場もまた例外ではなく、去る 5 月 4 日もスキー場には多くのスキーヤーがスキーを楽しんでいました。

5月中旬まで滑走可能？・・・



一度は、サハリンで滑ってみたいものですネ！